

フローティングディスクローター 取扱説明書

製品番号 06-08-0177

適応車種	PCX125 (JK05-1000001 ~ 1099999)
	PCX160 (KF47-1000001 ~ 1099999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎当製品の取り付け作業の際は、上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。
- ◎ディスクローターの交換は有資格者の分解整備作業にあたる為、整備士資格の持った方が作業を行って下さい。
- ◎ディスクローターの使用限度は、厚み 3.0mm です。それ以下の厚みで使用されますと大変危険ですので、早急に新品に交換して下さい。
- ◎新品の純正ディスクボルトを用意し、ご使用下さい。
- ◎新品のディスクローター、ブレーキパッド装着時はブレーキの効きが非常に悪い為、ディスクローターとブレーキパッドのなじみ（当たり付け）が出るまではブレーキの効きに十分注意しながら走行を行って下さい。
- ◎新品状態でのハードブレーキ操作は行わないで下さい。最初は軽いブレーキ操作で徐々にディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）を付け、一旦ディスクローターとブレーキパッドの温度を冷まします。ディスクローターとブレーキパッドになじみ（当たり）が付くまでこの操作を繰り返し行って下さい。
又、ブレーキは冷間時、効きが悪い為、ある程度温度が上がらないと安定した制動力を発揮しません。十分注意してご使用下さい。
- ◎アルマイト製品は経年変化により、色褪せ等発生する場合があります。予めご了承下さい。
- ◎当取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業を行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

～特徴～

- インナーディスクをアルミ製とする事で、純正ローターの1ピースタイプに比べて、軽量化されています。
- ブレーキング時、ローター本体に熱が生じると摩擦面の精度が低下し、ディスクローターの性能低下を引き起こす事がありますが、フローティングディスクローターの場合、ホイールハブと摩擦面を切り離す事で熱変形を最小限に抑え、安定したブレーキング性能を維持する事が出来ます。
- ウェーブ形状を採用する事により、ブレーキパッドに付着したダストや水滴を掻き出す効果が制動力を増大します。
- ノーマルのディスクローターと交換するだけで使用出来、キャリパーの変更の必要が無く、お手軽にお楽しみ頂けます。

! 注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）

! 警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（事故につながる恐れがあります。）

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



部 品 名	個数
ディスクローター COMP.	1

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

※新品の純正ディスクボルトを用意し、ご使用下さい。

- キャリアパーをフロントフォークから外し、ホイールが外しやすいようにしておきます。
 - アクスルナットを緩めます。
 - 水平な場所でメンテナンススタンド又はメインスタンドを立て、ジャッキ等を使用し、フロントホイールを浮かせます。
 - アクスルナット、フロントアクスルを外し、フロントホイールを取り外します。
 - 純正ディスクローターを取り外します。
 - レーザーマーキングがある面を外側に向け、フローティングディスクローターをホイールに取り付け、商品同梱のディスクボルトで締め付けます。
- この時、ボルトは徐々に締め、座当たりしたら対角線で規定トルクにて締め付けます。

▲ 警告：取り付け前に必ずディスクローターを脱脂する事。

▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
純正ディスクボルト (M8 ボルト)
トルク：42N・m (4.2kgf・m)

- 取り外しと逆手順で組み戻して下さい。
- 組み戻し方法や規定トルクにつきましては、各車両の純正サービスマニュアルを参照して下さい。

